

# 環境科学科生徒の脱炭素に関する質問に 答えていただきました

**もっと知りたい！  
カーボンニュートラル**

飛騨高山高等学校環境科学科の皆さんより、高山市の脱炭素に関するご質問をいただき、環境政策課の清水さんと、飛騨高山電力株式会社の井上さんにお答えいただきました。

**Q. カーボンニュートラルとは何ですか。**

**A.** 温室効果ガスの排出を実質

ゼロにするというものです。排出する量と同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロとなることを言います。「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素だけに限らず、メタン、「酸化」二窒素、フロンガスを含む「温室効果ガス」を対象に、「実質ゼロ」とは、「排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする」ことを意味します。



三宅蒼空さん

**Q. 脱炭素先行地域として高山市が選ばれたのはなぜですか。**

**A.** 選定には、自然エネルギーの活用と地域課題の解決、地域を活性化する視点があります。一つ目は、高山市は山林が多く、急峻な地形で水が豊富にある特性を生かした自然エネルギーの発電を行うこと。二つ目は、地域の皆さんにも関わっていたり、勤く場や地域活動の維持、地域への愛着づくりなど、地域の課題解決にもつながる点が評価されたと思います。



高原悠太さん

**Q. 自然エネルギーが増えていきますか。**

**A.** 高山市で作られる自然エネルギー由来の電力は年々増えています。ただし、地域で作られて市外で消費されるケースがほとんどです。脱炭素先行地域事業では、高山市内で生まれた電力を地域内で使う「自然エネルギーの地産地消」を進めています。



浦上愛莉さん

**Q. 自然エネルギーだけで飛騨地域全体の電力を補えるようになりますか。**

**A.** 自然エネルギーの地産地消は作る側と使う側の相互理解と協力があれば、将来実現可能ではないかと思えます。自然エネルギーの地産地消という大きな仕組みの変更（改革）にあたっては、高校生の皆さんをはじめ幅広い世代や多様な方の参画が必要になりますので、ご協力をお願いします。



坂上暁朋さん

**Q. 私たち高校生(若者)が協力できることはありますか。**

**A.** 地域で生まれた電力が使えるようになった際は、ぜひ皆さんにも使っていただきたいです。また、日ごろから脱炭素(地球温暖化防止)について考えたり、取り組んでいただくこと(自然光の活用、節電、省エネルギー、自動車利用の抑制、ごみのリサイクル、マイボトルの活用など)が大切です。すぐに取り組んでいただけます。皆さんの協力があれば、自然エネルギーでまかなえる社会は決して不可能ではないでしょう。



佐々木風翔さん

**Q. 私たちの暮らしはどのように変わっていくのでしょうか。**

**A.** 皆さんの暮らし自体が大きく変わることはあまりないと思えますが、脱炭素やエネルギーに対する向き合い方が大きく変わると思います。高山市に限らず、どの地域でも人口減少や少子高齢化が進んでいます。「エネルギーの地産地消」により、市民の皆さんが地域に対する誇りや愛着が持てたり、豊かな自然が守られ、住み続けられることができ、社会を自指します。



宮下真理さん

2050年になった時  
私たちは40代!  
どんな未来になっているのかな?

